

湯沢町におけるこれまでの取組（湯沢版 MaaS について）

MaaS（マース）とは・・・

MaaS（Mobility as a Service）とは、バスやタクシーなど複数の交通手段を統合し1つのサービスとして提供することで移動利便性を向上させるもの。

1. 湯沢版 MaaS の経緯

湯沢町では、ほとんどの家庭が自家用車を有しており、路線バスや電車といった公共交通については、利用者が通学や一部の高齢者に限られている。一方、年間400万人近い方が訪れる観光地でありながら、新幹線の停車駅であるJR越後湯沢駅から各観光地又は宿泊施設やスキー場等のレジャー施設への二次交通は、その多くを各施設の送迎バスに依存した効率の悪い交通環境となっている。

そうした状況にあって、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から地方分散の流れができたことを機に、新潟県が人や企業を呼び込むための策として、地域活性化リーディングプロジェクト（以下「プロジェクト」という。）を立ち上げ、このプロジェクトの一環として、湯沢町において交通環境整備実証運行「湯沢版 MaaS」の取組みを実施した。

○令和2年度・・・町内の資源調査実施（県予算）

（観光地や宿泊施設、リゾートマンション等の町内の資源の調査）

○令和3年度・・・夏期シーズンに実証運行実施（県・町予算）

2. 令和3年度湯沢版 MaaS 実証内容

実施主体：湯沢版 MaaS 推進協議会（構成：県、町、観光まちづくり機構）

実施期間：令和3年7月16日（金）～9月12日（日）59日間

実証内容：町民及び来訪者にとって効率的で利便性の高い交通環境整備を図るための実証着眼点（課題）

・越後湯沢駅周辺の回遊性向上

町の中心部には、商業施設や病院等、主要施設が立地しているが回遊性に乏しい。

・既存のホテル送迎バスの活用

路線バスと宿泊施設やスキー場等の送迎バスなどとの機能的な重複があり、限られた輸送資源を無駄にしている。

・バスとタクシーを組み合わせ、需要に応じた効率的な運行

観光地として来訪者及び町民の双方の需要に応じた利用しやすい環境が必要。

・岩原地区の利便性向上

居住者が増加しているリゾートマンションが多く立ち並ぶ岩原地区と中心部の移動利便性の向上。

・夜間のバス運行

①湯沢～市街地循環～岩原シャトル（グリーンライン）

運行事業者：南越後観光バス株

運行時間：9：00～18：21

ルート：越後湯沢駅周辺の回遊性の向上を目指し、岩原に設置した乗り換え拠点「岩原トランジットセンター（以下「岩原TC」という。）」を起点として、役場、越後湯沢駅（東口）、湯沢町保健医療センター、ショッピングセンターのぐちハーツ店・コメリ等を巡回するシャトルバス

②湯沢～岩原～中里シャトル（パールライン）

運行事業者：エンゼル観光株

運行時間：8：30～21：48

ルート：エンゼル観光株が運行する既存のホテル送迎バスを活用し、エンゼルグランドディア越後中里から、フィッシングパークや岩の湯、岩原TC、役場を経由して越後湯沢駅西口案内所まで運行するシャトルバス。また、既存のホテル送迎バスが22時近くまで運行しているため、夜間のバス運行の要素もこの路線で実証。

③一括定額タクシー

バスによる効率的な循環が難しい地域については、タクシーを組み合わせ、需要に応じた効率的な運行を目指す。

運行事業者：ゆざわ魚沼タクシー株、株アサヒタクシー

（統括：新潟県ハイヤータクシー協会）

運行時間：岩原エリア 9：00～22：00 土樽、旭原エリア 9：00～17：00

エリア：（1）岩原エリア 岩原TCから半径おおむね2.2Kmの範囲

（2）土樽エリア 土樽・松川町内から岩原TCまでの間

（3）旭原エリア 旭原・谷後町内から岩原TCまでの間

④乗車チケットの料金定額化（サブスクリプション）及びクーポン付与

- ・①、②のシャトルバス及び既存の路線バス（旭原線、土樽線）を、全国初の試みとして期間定額料金サービスで実施。一括定額タクシーは県内初。
- ・外出を促進するため、町内の飲食店等に協力を依頼し、クーポン特典を実施。

■チケット「yuûmo」（ユーモ）

券種		価格	
yuûmo (バス)	2日券	500円	
	5日券	1,000円	
	1ヶ月券	3,000円	
	回数券（5回）	1,000円	
yuûmo (タクシー)	岩原エリア	1週間（4回）	3,000円
		1ヶ月（12回）	8,000円
	土樽エリア	1週間（4回）	4,000円
		1ヶ月（12回）	10,000円
	旭原エリア	1週間（4回）	4,000円
		1ヶ月（12回）	10,000円

※町民限定シャトルバス無料乗車体験

町民が実証運行開始の3日間で（7/16～18）シャトルバスに体験乗車してもらえよう yuûmo（バス）2日券の配布（引換券と交換）を実施（7/11の広報ゆざわで周知・引換券印刷）

⑤岩原トランジットセンター（岩原TC）の設置

実証運行するバスやタクシー、既存路線バスの乗換拠点を岩原（エンゼルリゾート向い駐車場）に設置し、待ち時間も楽しんでいただけるような空間創出を工夫。

- ・イス、パラソルの設置
- ・マルシェの募集・開催
- ・電子看板（デジタルサイネージ）でシャトルバスと既存路線バスの情報を一体的に情報提供

⑥民間事業者のレンタル自転車との連携

- ・（株）エンゼル：シェアサイクル「ecobike」（エコバイク）
- ・雪国観光舎：レンタサイクル「旅チャリ」

3. 令和3年度湯沢版 MaaS 実証結果

(1) シャトルバス

■乗降者数

実証内容	乗降者数	特記事項
シャトルバス	22,623 人	
①グリーンライン	2,752 人	・湯沢駅とのぐちハーツ店で乗降する方が多い傾向がある ・日々の乗降者数は一定しており、日常的な利用目的の傾向がある
②パープルライン	19,871 人	・既存のホテル送迎バスであることから、ホテル宿泊者数によって日々の乗降者数が大きく変化する。 ・フィッシングパーク利用者や、夜間の利用者もある程度いる。

■シャトルバスチケット販売及び配布枚数

券種	価格	販売	売上	配布			
				町民体験	既存利用者		
					宿泊	マンション	
yuûmo (バス)	2日券	500円	333枚	166,500円	112枚	2,805枚	123枚
	5日券	1,000円	33枚	33,000円	/	1,118枚	83枚
	1ヶ月券	3,000円	22枚	66,000円		468枚	280枚
	回数券	1,000円	40枚	40,000円			
	合計		428枚	305,500円		112枚	4,391枚

※配布について

- ・町民体験：町民限定シャトルバス無料乗車体験で交換配布した枚数
- ・既存利用者：パープルラインは、既存のホテル送迎バスであるため、既存利用者に対して配布したもの（既存利用者：エンゼルグランディア越後中里宿泊者、エンゼル観光と協定しているマンションを利用しているオーナー）。配布にあたり、(株)エンゼルから協力金（500万円）を領収。

(2) 一括定額タクシー

券種		価格	販売	売上	モニター	
yuûmo (タクシー)	岩原エリア	1週間（4回）	3,000円	7枚	21,000円	/
		1ヶ月（12回）	8,000円	0枚	0円	
	土樽エリア	1週間（4回）	4,000円	0枚	0円	2名
		1ヶ月（12回）	10,000円	0枚	0円	/
	旭原エリア	1週間（4回）	4,000円	0枚	0円	3名
		1ヶ月（12回）	10,000円	0枚	0円	/
合計			7枚	21,000円	5名	

※モニターについて

一括定額タクシー「土樽」及び「旭原」エリアについては、実証運行終盤になっても利用者がいなかったため、急遽、モニターツアーを企画し各地区の免許返納者等に声をかけさせていただいたが、参加者が集まらなかったため、最終的に町内会長又は民生委員に依頼して参加をいただき、感想を伺った。

(3) クーポン利用

- ・協力店舗数：19 店舗
- ・クーポン利用者数：242 人
- ・クーポン利用が多かった店舗

協力店舗	クーポン特典	利用者数
湯沢釜蔵総本店	チケット提示で会計から 20%OFF	89 人
そば処しんばし	チケット提示でソフトドリンク 1 杯無料	80 人
ぼんしゅ館越後湯沢店	啤酒利用者へメダル 1 枚サービス 又は、酒風呂湯の沢料金半額、貸タオル付	58 人

(4) 総括

- ・乗降者数は、実施期間（7月16日～9月12日）が首都圏の緊急事態宣言と重なり、観光客数が少なかったことの影響を受けた。
- ・利用者の90%以上が町内の移動が便利になったと思うと回答し、特に駅周辺の回遊性の向上や、宿泊施設送迎バスの活用による利便性の向上が評価された。
- ・越後湯沢駅周辺市街地の巡回について満足度が高かったことから、今後の交通環境整備を図る上で必要な要素であると考えられる。
- ・クーポン利用実績を見ると、越後湯沢駅周辺の酒を提供する飲食店の利用が多かったことから、夜間のバス運行についても、一定のニーズがあるものと考えられる。
- ・外出頻度の向上に関して、料金定額化（サブスクリプション）は有効であると考えられる。
- ・定額タクシーについては、乗降できる場所や料金について改善をしなければ、本格運行はできないと考えられる。
- ・乗換拠点について、待ち時間を楽しんでもらえるような空間創出やマルシェの開催といったこと通じて、地域コミュニティの場としての可能性も感じられた。

(資料) アンケート結果等

資料2：一括定額タクシーモニター等からの意見

資料3：岩原 TC に届いた利用者の声

資料4：シャトルバス利用者からのアンケート結果

問 1 現状の公共交通への意見があれば教えてください。

- バスの本数を増やす。コミュニティバスがあればよい。(土樽・64 歳)
- 定期運行バスが無人で走っているのはもったいないと思う。自分が自家用車運転をできなくなれば、当然必要になるが現状では実感がない。(土樽・70 歳)
- 今後谷後方面は便数がすくないので、もう少し本数を増やしてほしい。(谷後・67 歳)
- バスと新幹線の乗継時間が合わないようなのでもう少し検討してほしい。(谷後・67 歳)
- バスの本数が少ない(旭原・63 歳)

問 2-1 定額タクシーと実証実験バスを利用してみての満足度を教えてください。

①大変満足<2> ②やや満足<2> ③やや不満<1> ④大変不満<0>

問 2-2 問 2-1 の満足度とした理由を教えてください。

- <大変満足>自分で運転しないのでよい(土樽・64 歳)
- <やや満足>自分で運転しないので楽だった(土樽・70 歳)
- <やや不満>乗継とタクシー会社に連絡するのが大変です。(谷後・69 歳)
- <やや満足>時間が思いのほかスムーズにいきました。(谷後・67 歳)
- <大変満足>家まで来てくれる、待ち時間もあまりない(旭原・63 歳)

問 3 タクシーとバスの乗り換えについてご意見があれば教えてください。

- バスの本数を増やす。コミュニティバスがあればよい。(土樽・64 歳)
- 足腰の悪い方は荷物を持ちながらの乗り換えは大変だと思う。(土樽・70 歳)
- とても不便。乗り換え時間が不便(谷後・69 歳)
- 目的地まで直通で行けたらよかった(谷後・67 歳)
- 特に問題なかった

問 4-1 今後、本事業が継続する場合また利用したいですか。

①また利用したい<1> ②しなくてよい<4>

問 4-2 問 4-1 のように回答した理由を教えてください。

- <しなくてよい>見直してほしい点がある。(土樽・64 歳)
- <しなくてよい>今は自分で運転出来るので自家用車で対応できるが、今後免許返納後の買い物・外出にユーモは便利かと思う。(谷後・69 歳)
- <しなくてよい>今は車があるので利用しないと思うが免許を返納したら検討したい。(谷後・67 歳)
- <また利用したい>高齢になって、車の運転が難しくなってきたときには使いたい。(旭原・63 歳)

問 5 本事業は現在の公共交通の代替案となりますか。

①はい<2> ②いいえ<3>

【対象者依頼時（断られた際）にいただいたご意見】

- ・腰が痛くて協力できない。（お年寄りにとって「乗換え」は抵抗があるのかも）（旭原 80 代女性）
- ・既存の路線バスであれば湯沢駅まで乗り換えなしで行ける。岩原で乗換えすることが考えられない。料金も高い。利用してみるまでもない。バスがエンゼルまでではなくもっと近くまで来てくれればいい。（松川 60 代女性）
- ・免許を返納したので路線バスに 100 円で乗車できる。これまでは湯沢までの往復に 600 円くらいかかっていたが、安く利用できて助かっている。また、路線バスもフリー乗車区間のため、家の前から乗車して、帰りも家の前で降りれる。今のままでもありがたいと思っている。日頃の用事は湯沢病院への通院。その際にのぐち本店で買い物もできる。近所の人に聞いてみても、今回の企画ではだれも利用しないと聞いていた。のぐち（ハーツ店）やコメリには、子どもたちが休みの時に車で連れて 行ってくれる。（土樽 80 代女性）
- ・今は、路線バスで湯沢駅まで行き、電車に乗り換えて南魚沼市内の駅で下車し市内の病院までタクシーを利用して行ったりしている。それをなぜ、町内においてまで乗り換えをして湯沢駅まで行かなければいけないのか。高齢になると、乗り降りがとても負担である。いったい誰がこのルートを考えてのか、町長に話をしようと思っていた。この度の企画はマンション住民向けのように思う。昔から町に税金を納めていた町民のことも考えてほしい。税金の無駄遣いだと思う。（土樽 80 代女性）
- ・車がないと話にならないので、利用しない。（松川 60 代男性）
- ・車があるので利用する必要ない。（土樽 80 代女性）

■ 利用者の声(岩原トランジットセンター)

- ・リゾートマンション所有,タクシー券について問い合わせバスが遅い時間まであるのがありがたい。(40代男性)
- ・医療センターへ行くために利用したい。(70代女性)
- ・車を手放したので助かる。(60代男性・マンションオーナー)
- ・湯沢病院前に直接行けるからとても便利で嬉しい(80代女性・岩原エリアマンションオーナー)
- ・湯沢駅まで行ける定額タクシーがあればよい(岩原エリアマンションオーナー)
- ・レンタルサイクルをもっと気軽に借りれるシステムにならないか？(70代男性・岩原エリアマンションオーナー)
- ・Maasバスは最高！飲みに行けるので便利。(65才男性・岩原マンションオーナー)
- ・バス停の場所がよくわからない。MAPを見てもわからない。わかりづらいとの事。(70代女性・岩原エリアマンションオーナー)
- ・冬場も継続してくれれば嬉しい。(50代男性・岩原エリア移住者)
- ・バスを使ってワクチンを打って、買い物してきました！とっても便利！ずっとあればいいのに！(50～60代女性)
- ・本格的に運用するならスポーツメント2の前まで来てほしい。(70代男性・スポーツメント2オーナー)
- ・便利なので秋以降も継続してほしい。(岩原エリアマンションオーナー)
- ・回数券があると嬉しい。(岩原マンションオーナー)
- ・オーロラプールで夏休みのバイトを始める子供のために1ヶ月定期券を購入。送迎の負担が減ってとてもありがたい。大源太在住なので旭原線を利用予定だが日曜祝日に減便されることが少し残念です。(40代男性)
- ・小学生の娘が夏休み期間に学童を利用予定なので1か月定期券を購入。(40代女性)
- ・今日も2日券購入。この券のおかげで以前は夜の外出などほとんどしなかったが、楽しい外出ができています。来月年金が入り次第、1か月券を購入予定。本当に感謝している。(60代男性)
- ・湯沢駅構内に新しく設置されたMaaSの案内版は良いのだが、表示が細かく難解で年配の我々には一読では理解しがたい。また、タクシーの利用方法の詳細がほとんど示されていないのでわかりづらい。もっと、様々な場所にMaaSの広告を出して欲しい。(70代男性・エンゼルマンションオーナー)

実績報告(利用者の声)

■ 利用者の声(岩原トランジットセンター)

- ・ 広告宣伝が足りないようで、このyuûmoパスを知らないマンションオーナーが多いと感じている。(70代男性)
- ・ エンゼルグランディア系列のマンションの管理室とエンゼルグランディアではユーモの説明内容が違うこともあり、全体会議などをして統一して欲しい。(70代男性・マンションオーナー)
- ・ スーパーのぐち利用のためグリーンを利用したが、バスの本数が少ないため買い物時間に費やせるのが1時間で短くて大変だった。(70代女性)
- ・ バスの停留所がわかりにくく理解しづらい為、シニアには混乱して使いづらい。黄色い目印がある場所と従来のバス停のみで黄色の目印がないところがあるので停留所かどうかわかりにくく、ややこしい。
※Maasが使えるバス停をライン毎の統一したわかりやすいものにしてもらいたい。
知り合いのシニア方が使いたいのになかなか説明できない。(50代女性・地元住民)
- ・ バスがこれからもずっとあればいいなあ～。知らない人もいるからもっと宣伝したほうがいい。(70代男性)
- ・ バスに乗ったらチケットがないと乗れないと言われた。バス停留所に「バス内ではチケットは購入できない」と書いてほしい。(70代ご夫婦)
- ・ 3日間毎日バスに乗車している中で2度ほどチケット未購入の為バスに乗車できず駅までのワンウェイにしか使用しないから回数券購入は高すぎると不満を述べている人を目撃した。(5日券購入の60代女性)
- ・ せっかく目立つ良い場所にあるのだから、マルシェを定期的で開催したほうが良い。マンション住人は地場の新鮮野菜などを求めているし、地元農家さんも直接売ることがあれば良いはずだ。(40代マンションオーナー様男性)
- ・ 岩原定額タクシー券をご購入にきましたが、岩原⇄駅周辺は使用できない旨ご案内したところ購入ならず(30代男性)。
- ・ yuûmoの「乗り場案内」を改札中にあったほうがわかりやすい(40代外国男性)
- ・ 通勤に使わせてもらっていて助かっています(岩原マンション在住者)
- ・ ビンゴアンケートは簡単でとても良い案ですね！
- ・ 買い物用途に2日券を事前購入したが、今日のように雨天の場合など利用日付を変更したいのに(日付が記入済みの為)できないのが不便。やはり回数券が良い。(70代マンションオーナー様女性)
- ・ 新幹線最終到着に合わせた終バスがあると便利だ(30代男性)
- ・ 病院を利用するのに、1時間に一本程度バスがあって便利である。

実績報告(利用者の声)

■ 利用者の声(岩原トランジットセンター)

- ・バス初回利用時にもウェブアンケートに回答したが、買い物、レジャー利用など大変便利なのでなくならないでほしい(70代マンションオーナー夫婦)
- ・フジロック期間中グリーンラインが運休していることをもっときちんと知らせるべきである(70代男性)
- ・マンションオーナーの友人同士での誘いあつてのバス利用。友人と出かけることもでき、便利。無くならないで欲しい。(70代マンションオーナー女性組)
- ・9月12日実験終了のあと、また次の実験などの予定は決まっているのか?夏と冬の期間だけ動いてくれれば良いのだが(70代男性)
- ・1回券がないからユーモは使いづらい。2日間連続は使わないから(岩原エリア在住者)
- ・バス、すごく助かっている!→1か月券+2日券を3回以上ご購入。(岩原エリアマンションオーナー)
- ・自転車は電動じゃないの(岩原マンションオーナー)
- ・実際に運行になる日を楽しみにしています(50代ご夫婦)
- ・自転車は現金で借りれますか?(電話問い合わせ)
- ・バスは便利だが、買い物帰りは重い荷物もあるので高齢者だと距離が辛い為、マンション近くに停留所が欲しい(ロイヤルプラザ居住者)
- ・岩原にマンションがあるが、交通が不便だったのでyuumoはすごく便利です。通年運行してくれると嬉しい。
- ・バスはとても便利で今後も継続して頂きたいが、yuumoを未だに知らない人が多いのが残念。同じマンションでも知らない人もいる。ポスターはパッと見てもわかりずらく、しっかり読まないとのことだかわからない、その為、興味を持たずバスを知らない人もいるのもったいない。中高年がパッと見てもわかるようにポスターをもっとわかりやすいデザインにする必要があるし、きちんとPRすべきだ。
- ・トランジットセンターなんて洒落た名前じゃ何処にあるのかわからない。
- ・足が悪いので路線バスは使いにくく、普段は買い物や通院にタクシーを利用しているが今回のマースのおかげで交通費の月額が1/3に減り、とても有難い。是非今後も続いて欲しい。(70代女性マンションオーナー)
- ・タクシー1週間券をご購入の上、TC→岩の湯、→ピットーレ、→TCにお戻りになられたお客様が大満足とのこと。(50代マンションオーナー様)
- ・今日も夜の食事外出のためにチケットを購入。夜遅くのバスは大変便利だった。なくなってしまうのが残念。(60代男性)
- ・このバスは明日で終わりか?というお問い合わせが複数ありました。

- 実証実験バスの利用者を対象に、バス車内で回答できるビンゴ型のアンケートを実施
- より細かな分析のためにインタビュー形式でのアンケート調査も追加実施

<調査の目的>

利用者を対象に調査を行い、①町民・来訪者の満足度向上、②町民・来訪者の行動変容の二つについて効果が得られたかを把握する

○ビンゴ形式のアンケート調査票

アンケート調査票

1 yuumo の利用について、お聞きします。

1-1 yuumo をどのように知りましたか。(1つだけ)

1	2	3	4	5	6
バス停	バスそのものを見て	宿泊施設の案内	家族のクチコミ	友人・知人のクチコミ	新幹線の車内広告
7	8	9	10		
テレビ・新聞などのニュース	ホームページ	広報ゆざわ	その他		

1-2 yuumo の入手とその券種について教えてください。(各々1つだけ)
※タクシーは利用者のみ

バス	入手方法	1	2	券種	1	2	3
		購入	無料配布		2日券	5日券	1ヵ月券
タクシー	エリア	1	2	3	券種	1	2
		岩原周辺	谷後・旭原	松川・土俵		1週間券	1ヵ月券

1-3 yuumo の利用目的を教えてください。(いくつでも)

1	2	3	4	5	6
仕事	観光	ワーケーション	レジャー	食事	イベント参加
7	8	9	10	11	12
温泉	帰省	通勤・通学	買い物	通院	その他

1-4 yuumoによって、町内の移動が便利になったと思いますか。(1つだけ)

1	2	3	4
そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	思わない

1-5 yuumoの良かった点を教えてください。(いくつでも)

1	2	3	4	5	6	7
市街地を巡回する	駅～岩原が便利	定額タクシー導入	岩原トランジットセンターでの待合環境	定額の乗車券	クーポンがつく	情報提供(運行内容や乗り継ぎ)

1-6 公共交通の利便性が向上することにより、湯沢町への再訪問や暮らしの安心に繋がりますか?(1つだけ)

1	2	3	4
そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	思わない

2 あなたのおでかけ状況について、お聞きします。

yuumoがきっかけで、ご自宅や滞在先からのおでかけは増えそうですか。

1	2
増えそう	変わらない

3 あなたご自身について、お聞きします。

● 居住地域

1	2	3	4	5
湯沢町内	新潟県内	群馬県	関東(1都3県)	その他

● 年齢

1	2	3	4
10代以下	20～30代	40～50代	60代以上

「ご回答ありがとうございました。」

○インタビュー調査の実施

項目：おでかけの増加回数、改善要望など



バス車内で回答でき、回答も簡単のため多くの回答が得られた。

- 住民、来訪者ともに町内の移動が便利になったと思うもしくはややそう思うの合計が90%以上
⇒ 利用者のほとんどが町内の移動利便性が向上したと実感

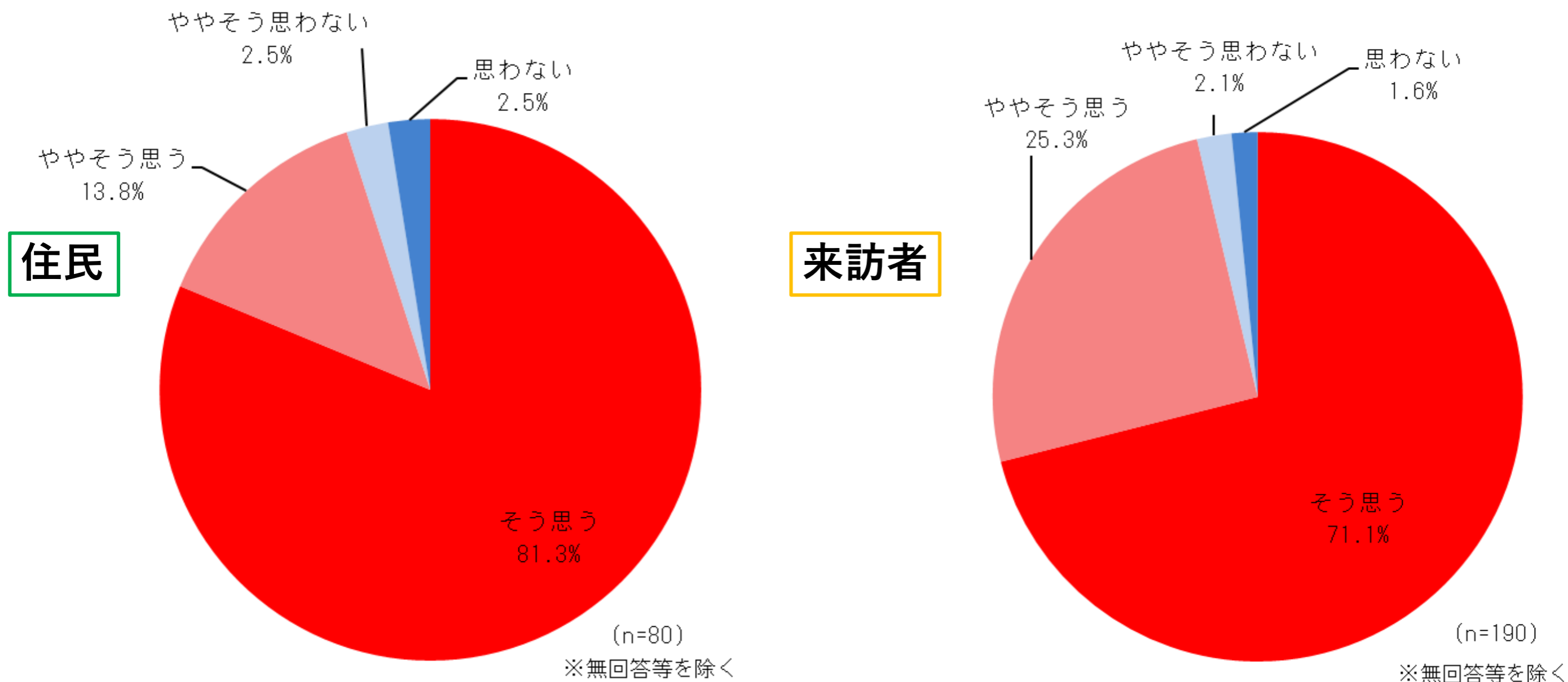


図 yuûmoによって町内の移動が便利になったと思うか

- yuûmoの良かった点として、住民・来訪者どちらも市街地循環、越後湯沢駅～岩原間が便利を多く選択
 → 駅周辺の回遊性の向上や、宿泊施設送迎バスの活用による利便性の向上が利用者に評価された
- 岩原TCの待合環境も一部で評価され、インタビュー調査等でも高評価の声が聞かれた

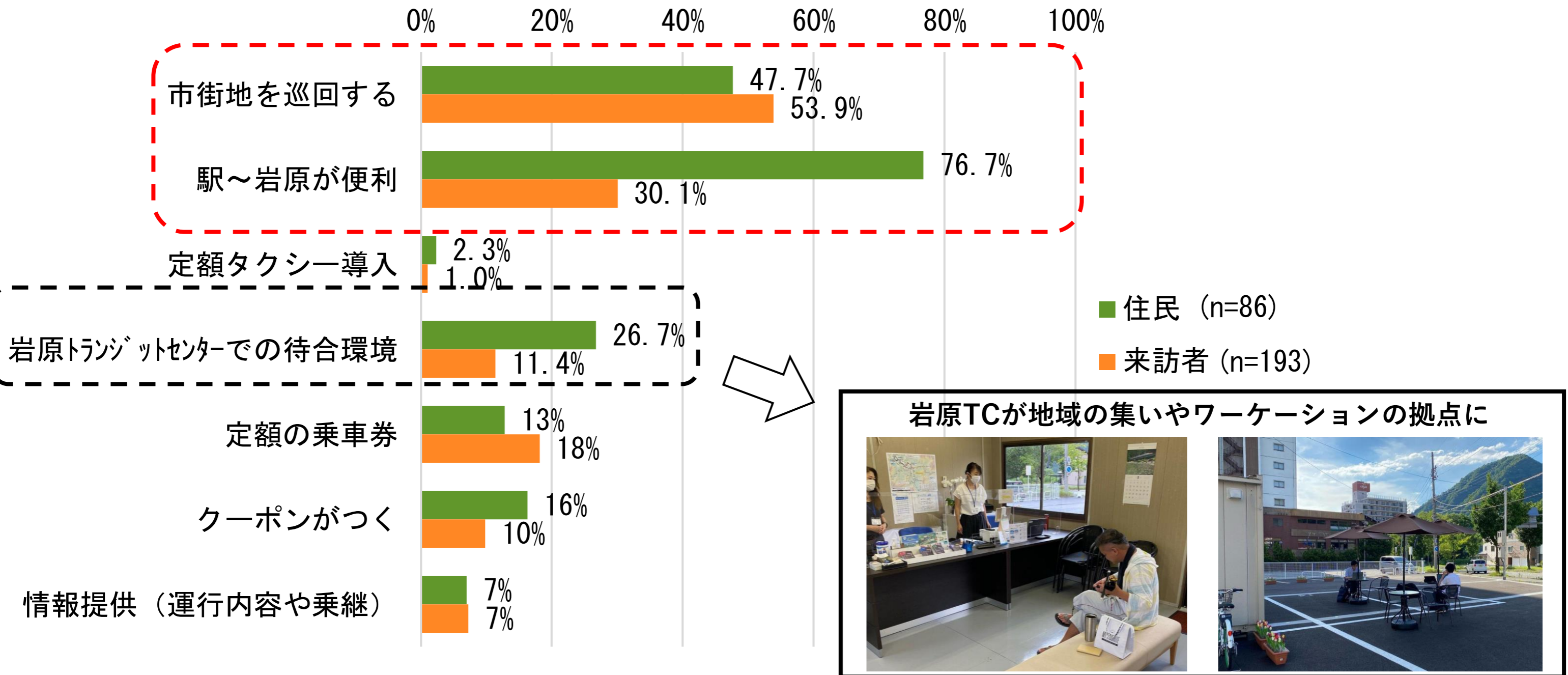


図 yuûmoの良かった点 (複数回答可)

- 住民の利用目的として買い物、食事、通院が多い
→住民の日常生活を支える交通手段となっていると考えられる

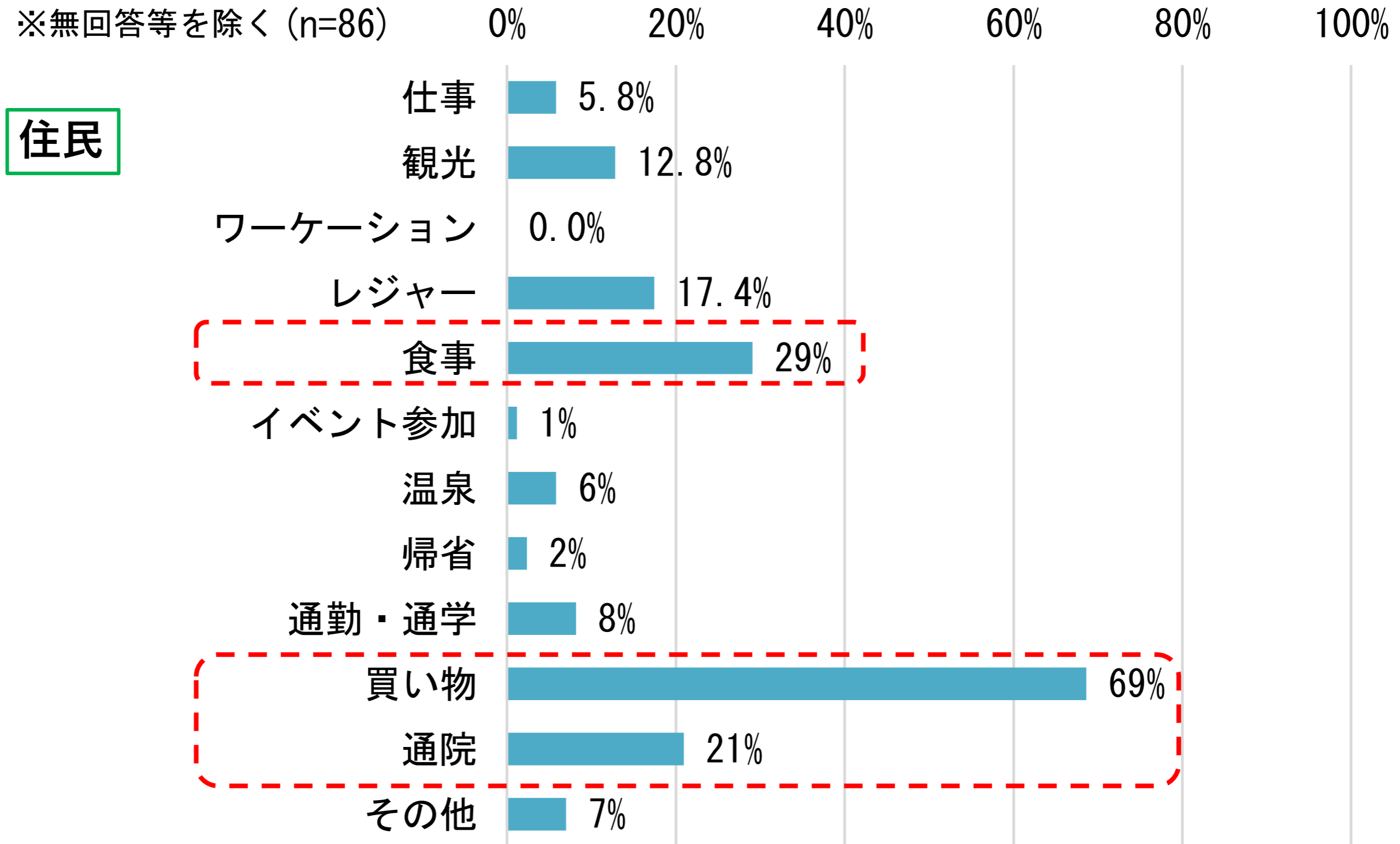
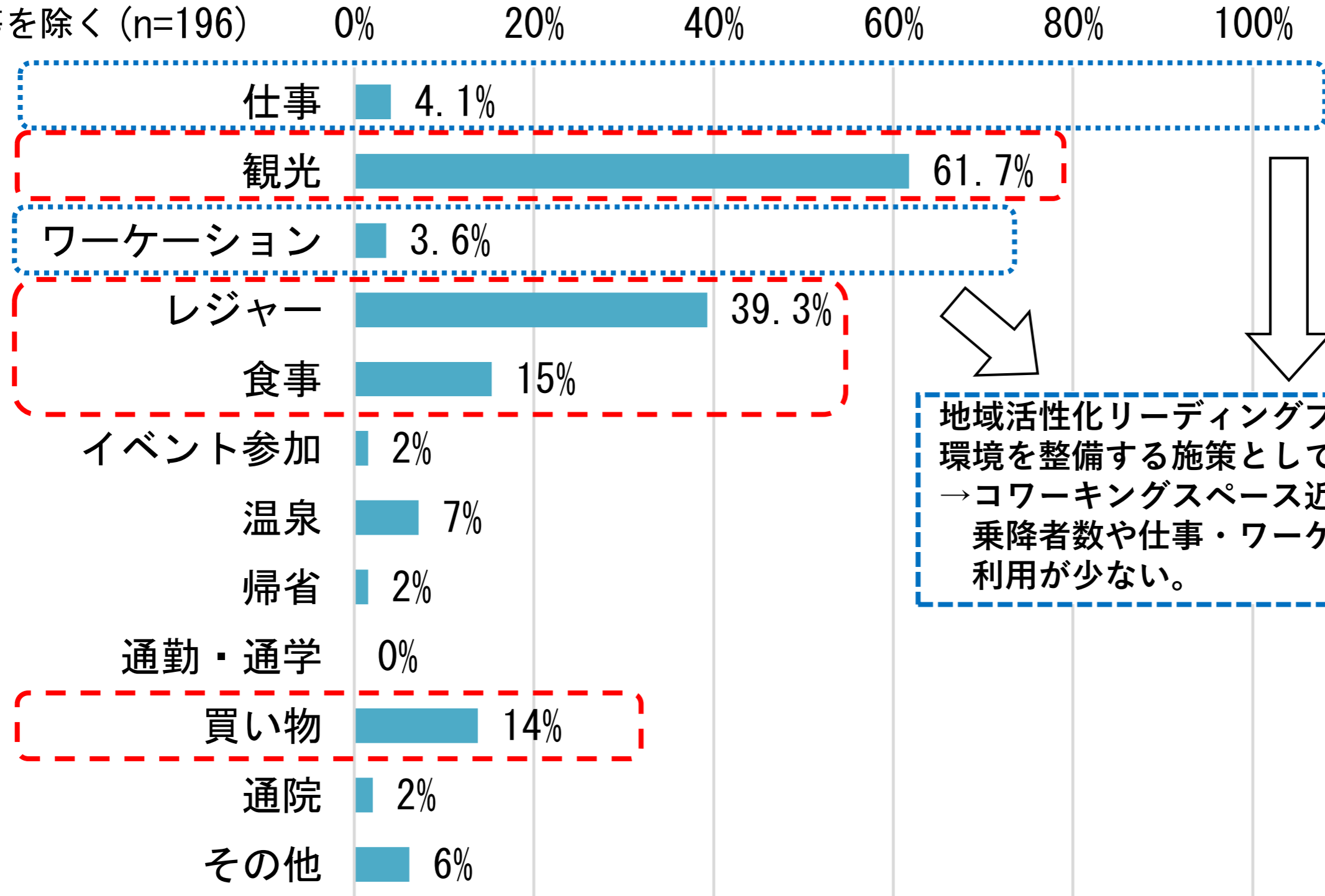


図 住民のyuûmoの利用目的 (複数回答可)

- 来訪者の利用目的としては観光、レジャーが多いことに加え、食事や買い物も次いで多い
→観光、レジャーのみではなく、幅広い利用をされている

※無回答等を除く (n=196)

来訪者

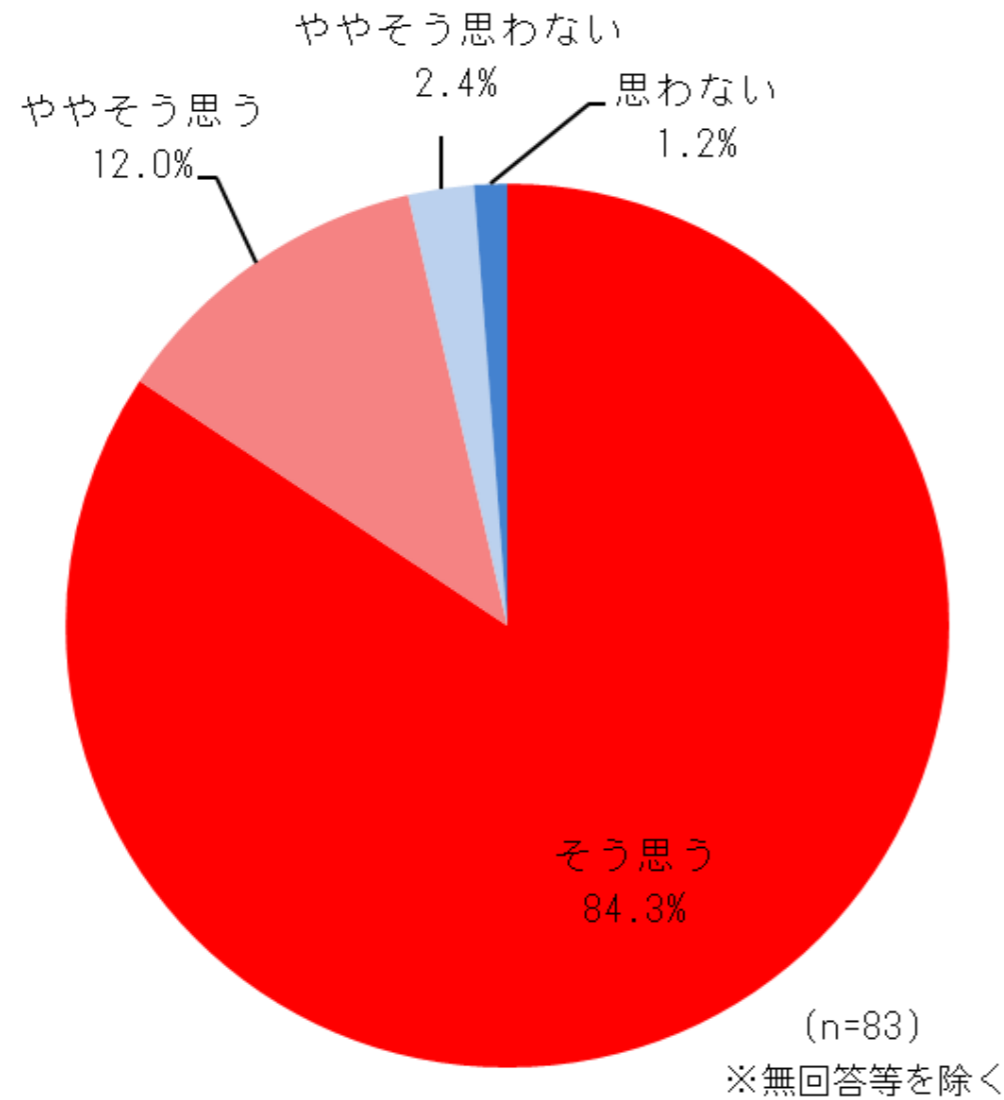


地域活性化リーディングプロジェクトの人を呼び込む環境を整備する施策として湯沢版MaaSを実施
→コワーキングスペース近くに停留所を設けたが、乗降者数や仕事・ワークেশョンを目的とした利用が少ない。

図 来訪者のyuûmoの利用目的 (複数回答可)

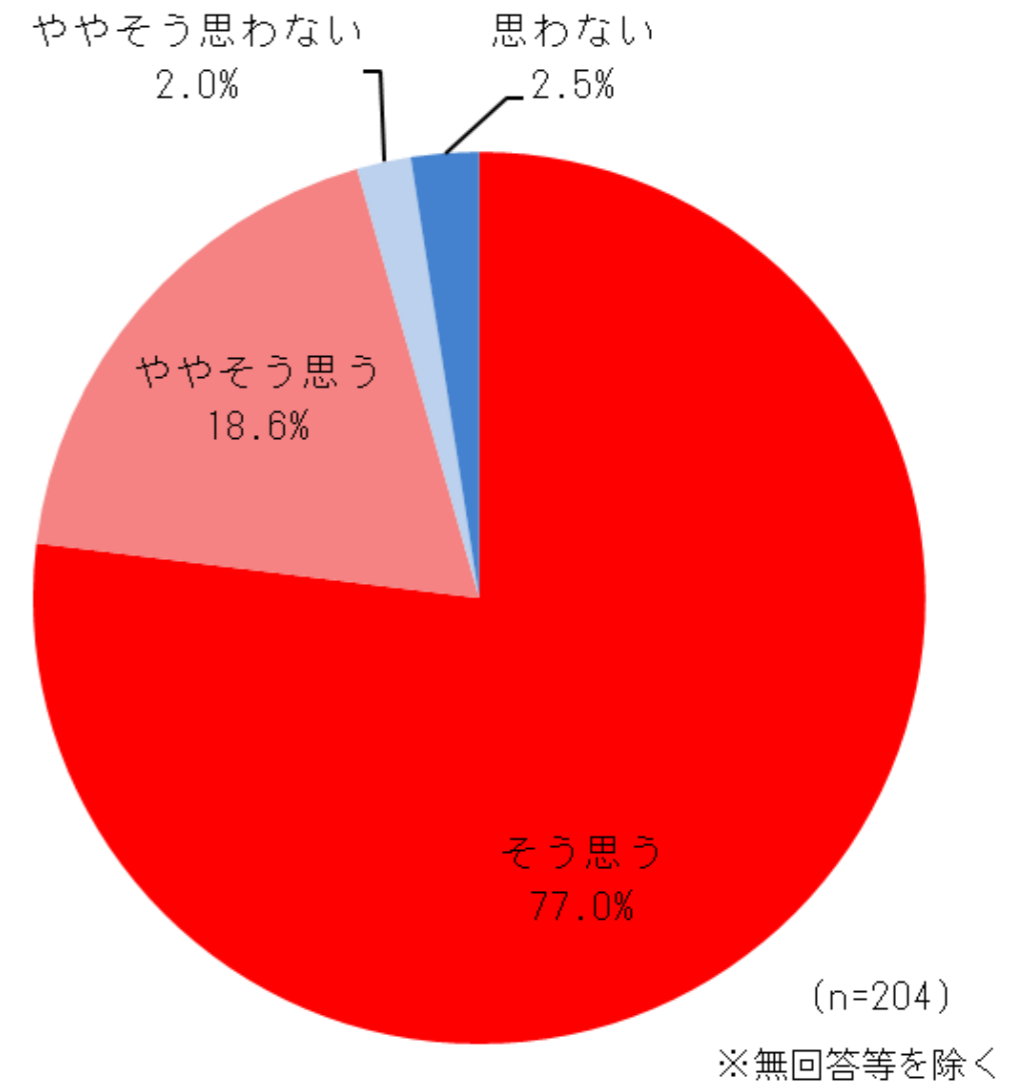
- 住民・来訪者がそれぞれ公共交通の利便性が暮らしの安心・再訪問につながるかという問いにややそう思う、そう思うと回答した方が**9割**以上
- インタビュー調査の結果**約97%の方が再訪問をしたいと回答**、(n = 39)理由としてはスキーのため冬期に来たい、yuûmoのおかげでプールやスーパーがあり便利なおことが分かったからなど

住民



公共交通の利便性向上は
暮らしの安心につながるか

来訪者

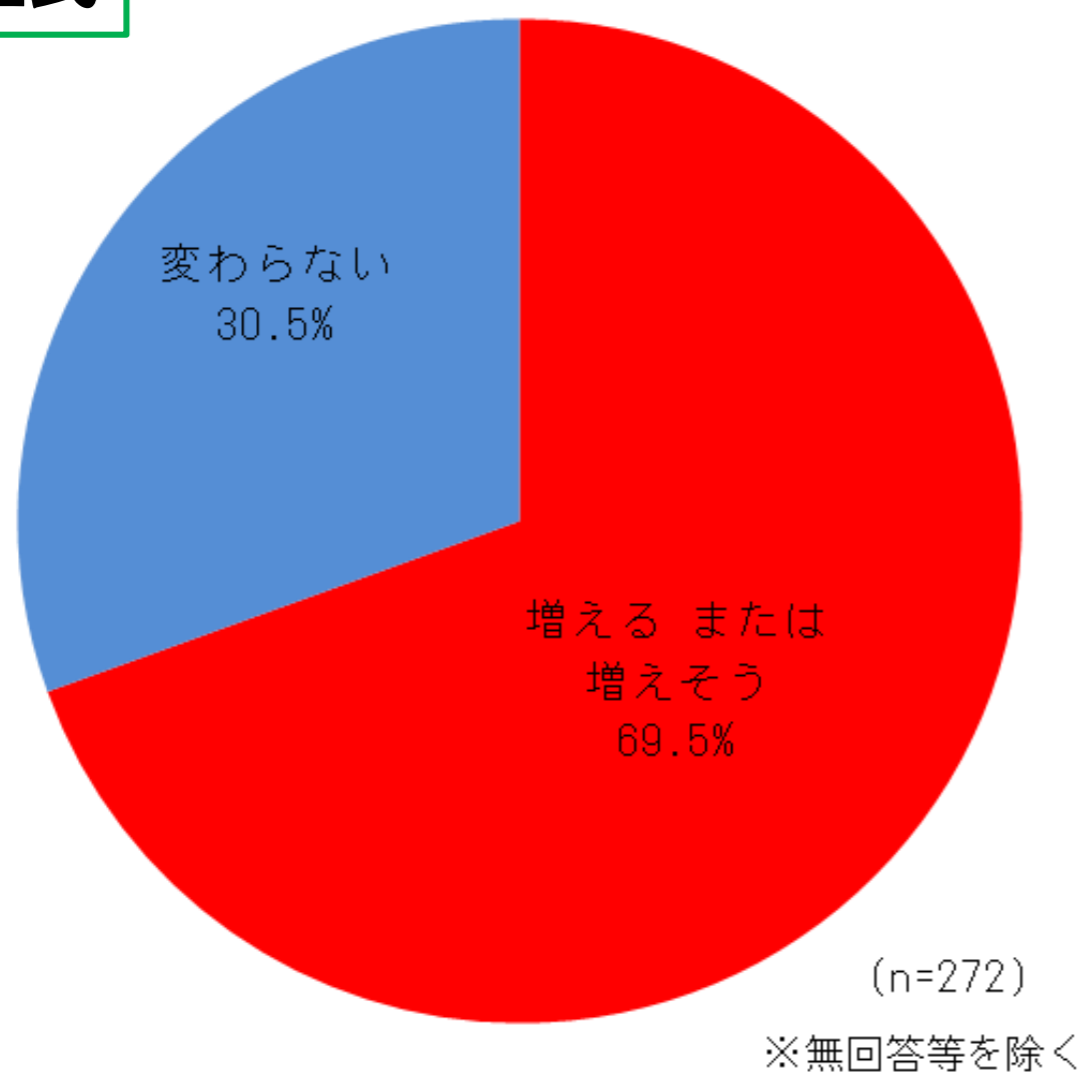


公共交通の利便性向上は
再訪問につながるか

- 住民・来訪者ともにおでかけ回数が増えそうと回答した人が多い

→yuûmoによっておでかけが創出されたことが示唆される

住民



来訪者

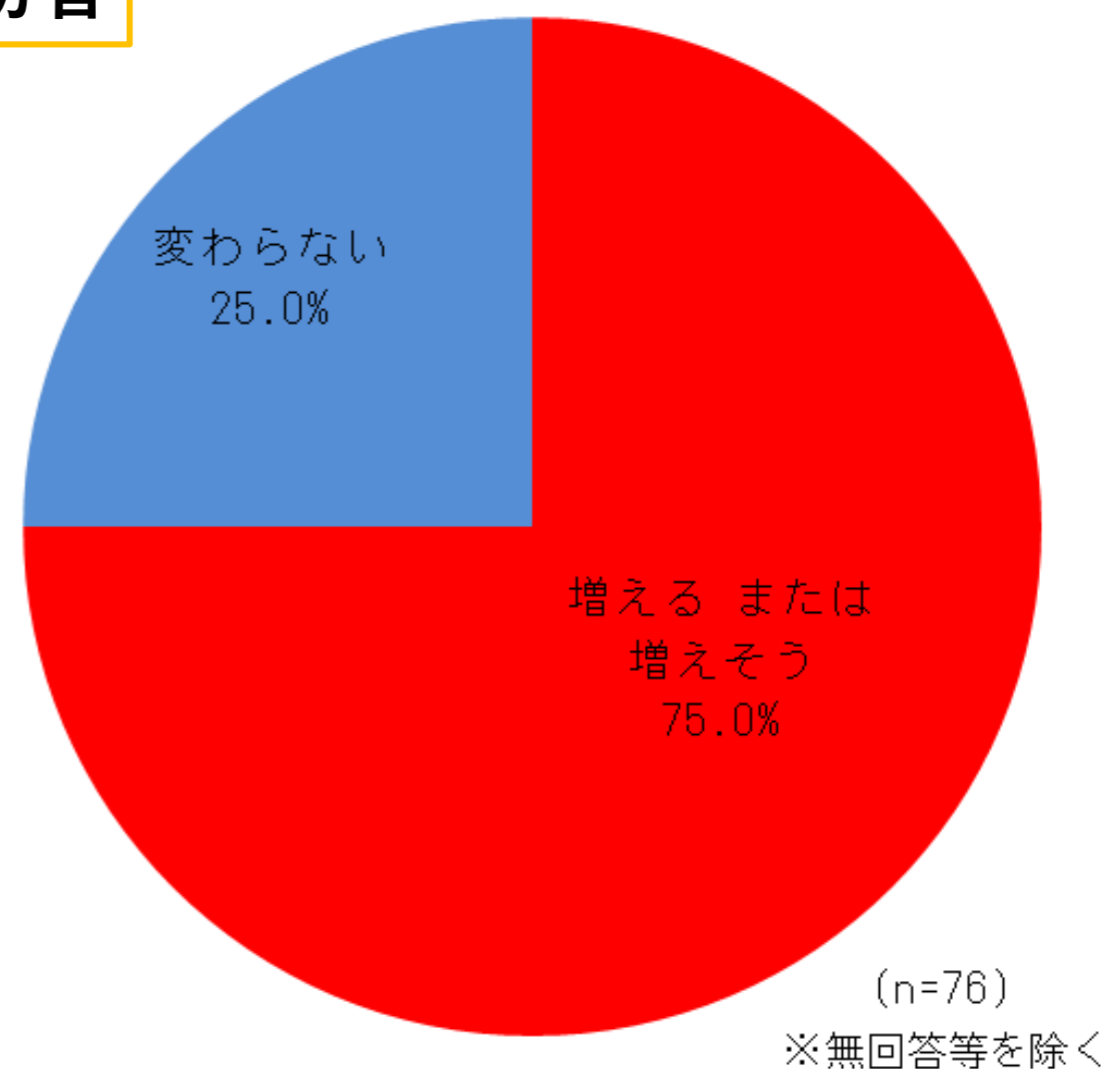


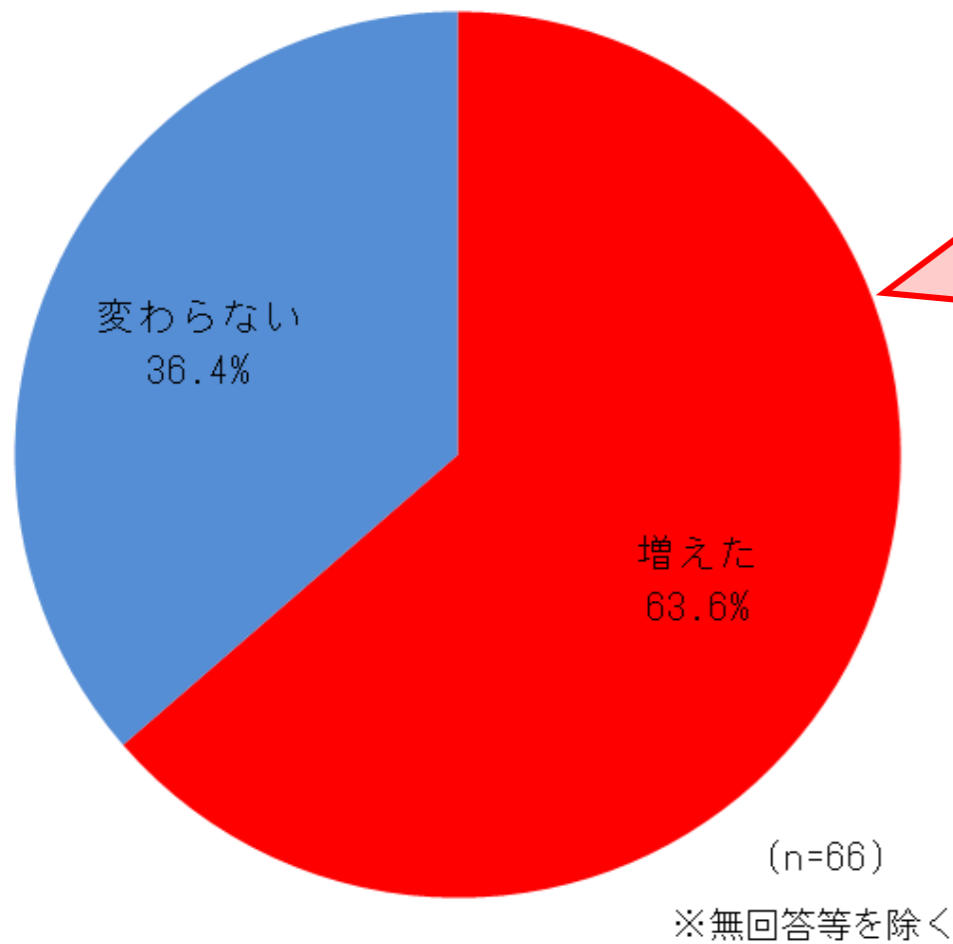
図 yuûmoによっておでかけは増えそうか（増えたか）

※ビンゴ形式では「増えそうか」で質問。
インタビュー調査ではおでかけが「増えたか」で質問。

● インタビュー調査で、おでかけの増加回数、新たな目的、場所を調査した

→おでかけが実際に増えたと回答した人は約6割、そのうちおでかけ増加回数は約0.9回/日

(n = 36)増加し、目的は買い物、食事、レジャーであることが分かった



○新しく出かけるようになった目的と場所

- ・ 買い物 — のぐち、はりまや（回答数：12）
- ・ 食事 — 越後湯沢駅（回答数：4）
- ・ レジャー — プールオーロラ、フィッシングパーク、大源太（回答数：9）



○おでかけが増えた理由

- ・ 定額なので何回乗っても良いから。
- ・ 徒歩からバスでの移動に変わったため
- ・ 約30分間隔の運行のため、前より出かけるようになった。
- ・ 車が無くても周回できる。
- ・ 食事に行きやすくなった。
- ・ 既存の路線バスが早く終わるため

図 yuûmoによっておでかけは“増えた”か

- 住民は高齢者の利用が多い。
→ 買い物や食事のための移動に課題を抱えていた高齢者から利用されていた可能性がある。
- 来訪者は若い世代の利用が多い。
→ 自動車を運転できる世代の行動変容に寄与している可能性がある。

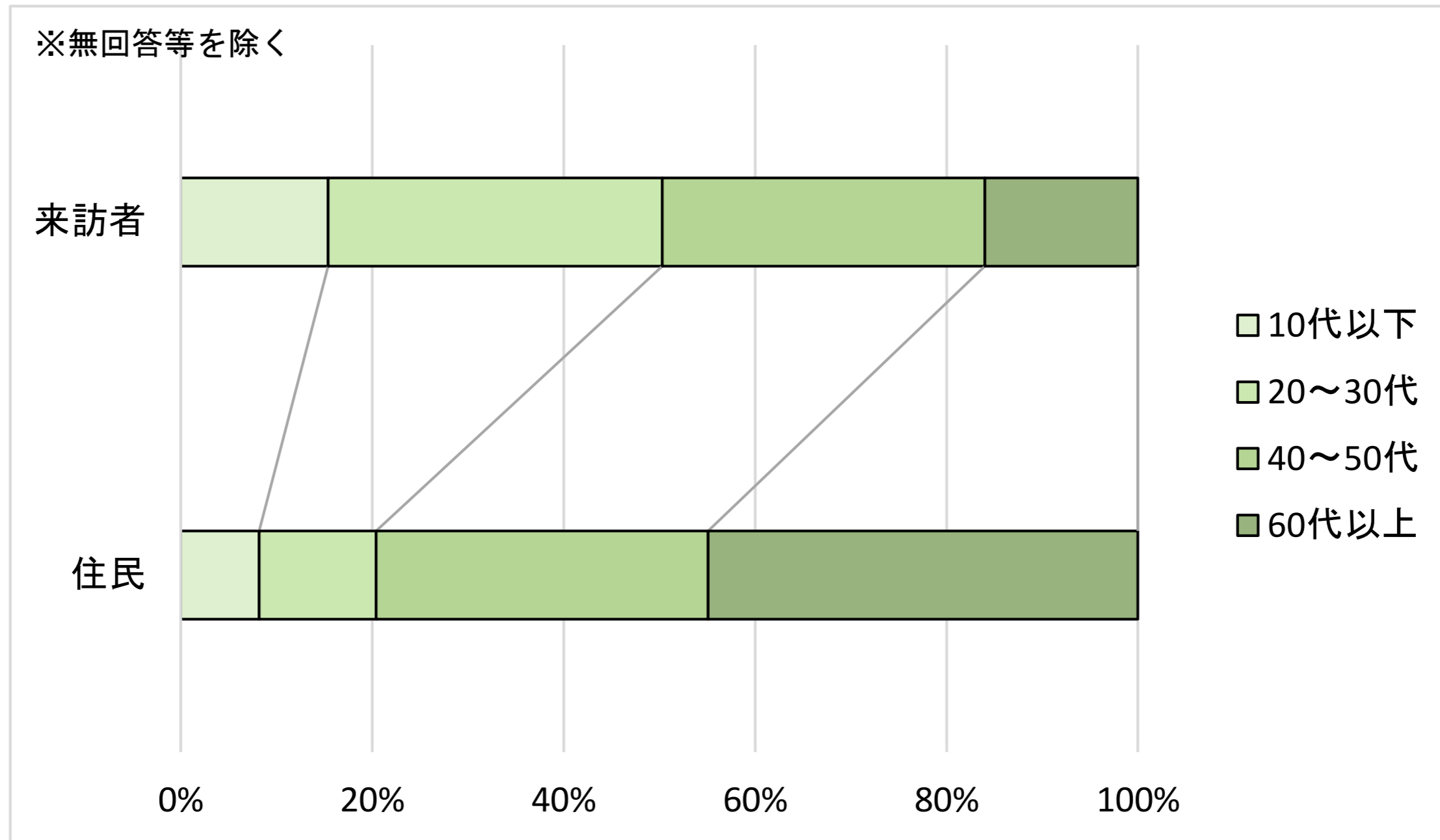


図 利用者の年齢層